

## 水工学講演会 Best International Paper Award 表彰選考内規

2007年3月 制定

2021年6月 一部改正

2022年4月 一部改正

2023年4月 一部改正

### 1. Best International Paper Award について

留学生や外国人研究者と日本の技術者・研究者が、水工学講演会を通じて水工学に関する学識を深め、情報共有することの促進を目的として、Best International Paper Award を設ける。この賞は、土木学会論文集特集号（水工学）英文論文集 Journal of JSCE の掲載論文のうち、独創性・発展性・適用性に最も優れ、かつ論文作成に主たる貢献をなしたと判断される講演者に対して授与されるものとする。なお、水工学論文賞、水工学論文奨励賞とは独立の賞として位置づけられる。

### 2. 対象論文と授与件数

土木学会論文集特集号（水工学）英文論文集 Journal of JSCE に掲載され、かつ、第一著者となる講演者が水工学講演会開催年度の3月31日に40歳以下である論文の講演者個人に対して授与される。原則として授与件数は1件とし、過去に同賞の受賞経験の無いこと、および英語での口頭発表の実施を要件とする。

### 3. 表彰形式

賞状の授与

### 4. 審査方法

(1) 土木学会論文集特集号（水工学）編集小委員会は部会長を構成員とする Best International Paper Award 選考委員を設置し、水工学委員長は同賞の選考を選考委員へ諮問する。

(2) 選考委員は、講演会で講演予定の英文論文から選考対象となる論文を対象に、第1次査読結果に基づき5編程度の授賞候補者を選考する（一次審査）。なお、第一次審査前に講演会当日の講演実施状況を確認し、選考対象者が講演していない場合は対象から外す。

(3) 選考委員は一次審査を通過した全論文の全文審査を行い、合議により授賞候補者1名

(当該論文の発表者)を選考する(最終審査)。その際、選考委員は対象論文を担当した主査・副査の意見を聞くことができる。

(5) 選考委員は最終審査で決定した授賞候補者 1 名を水工学委員長へ提案し、同委員長はこれを決定する。

## 5. 審査経緯と授賞論文の報告

水工学委員長は、授賞論文の他に原則としてすべての選考対象論文の評価結果と選考経緯を水工学委員会へ提示し、Best International Paper Award 受賞者を報告する。

付則 この改正内規は 2023 年 4 月 17 日から施行する。